

1年生	国語科	教科書、ノート、ワーク、資料集
(学習の目標)		
1	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	
2	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。	
3	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	

授業の進め方や授業のポイント	家庭学習の手引き
<p>1 様々な素材にふれ、社会生活で活かせる実践的な能力を高める。</p> <p>2 繰り返し学習の中で語彙力を徹底して高める。</p> <p>3 書くことや聞くことのトレーニングを積極的に行う。</p> <p>4 討論や文章作成など総合的な国語力を高める素材を工夫する。</p>	<p>1 復習として漢字練習や語句の確認など語彙力を高める活動を繰り返し行う。</p> <p>2 新聞や雑誌、インターネットを通して様々な文章に触れ、自分の考えを持つ。</p> <p>3 内容理解に向けて練習問題などに積極的に取り組む。</p> <p>4 積極的に読書を行い様々なジャンルの作品に触れる。</p>

### 通知表の付け方

評価の観点	材料
知識・技能	定期テスト・単元テスト・ワークシートなど
思考・判断・表現	定期テスト・単元テスト・ワークシート・課題作文など
主体的に学習に取り組む態度	ふり返り・ワークシート・パフォーマンス課題など

### 1年間の授業計画(140時間)

学年 ・ 学期 ・ 学年	学習の流れ	学習内容
1 学年	言葉に出会うために 野原はうたう 1 学びをひらく 物語 シンシン 情報を整理して書こう 2新しい視点へ 説明 大根は大きな根? 説明 ちょっと立ち止まって 話の構成を工夫しよう 情報社会を生きる 3言葉に立ち止まる 詩 詩の世界 説明 比喩で広がる言葉の世界 4心の動き 物語 大人になれなかつた弟たちに… 物語 星の花が降るころに 聞き上手になろう 項目を立てて書こう 5筋道を立てて 記録 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 根拠を明確にして説明しよう 話題や展開を捉えて話し合おう 詩 大阿蘇 6いにしえの心にふれる 古文 いろは歌・古典の世界 蓬萊の玉の枝 漢文 今に生きる言葉 7価値を見いだす 意見 「不便」の価値を見つめ直す 助言を自分の文章に生かそう 8自分を見つめる 小説 少年の日の思い出 隨筆 隨筆二編 構成や描写を工夫して書こう 一年間の学びを振り返ろう 詩 さくらのはなびら ※言葉/漢字/文法/書写	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中から話題を決め、材料を集め整理する。</li> <li>話を構成し、相手の反応を踏まえながら話す。</li> <li>相手や場に応じた言葉遣いなど知識を生かして話す。</li> <li>自分の考えとの共通点や相違点を整理する。</li> <li>話合いの話題や方向をとらえて自分の考えをまとめること。</li> <li>日常生活の中から課題を決め、自分の考えをまとめること。</li> <li>材料を整理し段落の役割を考えて文章を構成する。</li> <li>伝えたい事実や事柄について、根拠を明確にして書く。</li> <li>書いた文章を、表現や語句の用法、叙述の仕方を確かめて、読みやすく分かりやすい文章にする。</li> <li>書いた文章を互いに読み合い、意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりする。</li> <li>文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。</li> <li>文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見を読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりする。</li> <li>場面の展開や登場人物などの描写に注意して読む。</li> <li>文章の構成や展開、表現の特徴に、自分の考えをもつ。</li> <li>文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くする。</li> <li>本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身につけ目的に応じて必要な情報を読み取ること。</li> </ul> <p>※伝統的な言語文化に関すること ※言葉の特徴やきまりに関すること（言葉の働きや特徴、言葉遣いに関すること／語句・語彙に関すること／単語、文及び文章に関すること／表現の技法に関すること／共通語と方言に関すること） ※漢字に関すること ※書写に関すること</p>
2 学年		
3 学年		

1年生	社会科	地理：教科書、ファイル、ワーク、地図帳 歴史：教科書、ファイル、ワーク、資料集、地図帳
-----	-----	--

(学習の目標)

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

① 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

② 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

③ 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。



授業の進め方や授業のポイント	家庭学習の手引き
<p>① 授業にメリハリをつける。</p> <p>② 授業内容をノートやワークシートにまとめる。</p> <p>③ 提出物の提出期限を守る。</p> <p>④ 意欲的に課題に取り組む。</p> <p>⑤ 学習に必要なものを持ってくる。</p>	<p>① 教科書、ノート、ワークシート、地図帳などを活用し、自分でまとめをつくる。</p> <p>② 教科書の重要語句は説明できるように必ず覚える。</p> <p>③ ワークを使って学習内容の定着を図る。</p> <p>④ 新聞やテレビなどのニュースを見て、社会に関心を持つ。</p>

通知表の付け方

評価の観点	材料
知識・技能	定期テスト、レポート、振り返りシートなど
思考・判断・表現	定期テスト、レポート、振り返りシートなど
主体的に学習に取り組む態度	レポート、振り返りシート、授業への取り組み方など

1年間の授業計画（105時間）

学習の流れ		学習内容
1学 期	○世界の姿	・ 地球の姿を見てみよう ・ 地球上の位置を表そう ・ 日本の位置 ・ 日本の領域の特色 ・ 日本の都道府県
	○日本の姿	・ 世界に見られるさまざまな気候とそこに暮らす人々 ・ 生活に根付く宗教と伝統的な生活の変化
	○世界各地の人々の生活と環境	・ 歴史をとらえる見方・考え方 ・ 世界の古代文明と宗教のおこり ・ 日本列島の誕生と大陸との交流 ・ 古代国家の歩みと東アジア世界
2学 期	○歴史へのとびら	
	○古代までの日本	

地理	○世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア州 一急速に進む成長と変化一</li> <li>・ヨーロッパ州 一国どうしの統合による変化一</li> <li>・アフリカ州 一特定の生産品にたよる生活からの変化一</li> <li>・北アメリカ州 一盛んな農業や工業の特色一</li> <li>・南アメリカ州 一開発の進展と環境問題一</li> <li>・オセアニア州 一強まるアジアとの結びつき一</li> </ul>
3 学 期	○中世の日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武士の政権の成立</li> <li>・ユーラシアの動きと武士の政治の展開</li> </ul>

## (学習の目標)

- ①正の数と負の数について、その四則の計算ができる。また、日常生活の中など具体的な場面で、正負の数を用いて課題を解決することができる。
- ②文字の式を用いて関係や法則を式に表したり、式の意味を読みとったり出来るようにするとともに、文字を用いた式の計算ができる。
- ③方程式の必要性とその意味を及びその解の意味を理解し、等式の性質を基にして一元一次方程式を解く方法について考察し表現する。そして、一元一次方程式を具体的な場面で活用できるようとする。
- ④具体的に事象を考察することを通して、関数関係を見いだし考察し表現する力を養う。
- ⑤平面図形の対称性に着目することで見通しをもって作図し、作図方法を具体的な場面で活用することを通して、平面図形の性質や関係を直感的に捉え論理的に考察する力を養う。また、図形の移動について理解し、二つの図形の関係について調べることを通して、図形に対する見方を一層豊かにする。
- ⑥図形の性質や関係を直感的に捉え論理的に考察する力を養うために、観察や操作、実験などの活動を通して空間図形について、観察や操作、実験を通して考察することを基本にして学習を進める。
- ⑦データを収集、整理する場合には、目的に応じた適切で能率的なデータの集め方や合理的な処理の仕方を理解する。また、ヒストグラムや相対度数などを用いて、データの傾向を捉え説明することを通して、データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断することをできるようとする。

↑

↑

## 授業の進め方や授業のポイント

- ①音声トレーニングやベル着プリントなどで問題の復習をする。
  - ②本時のめあてを確認する。
  - ③例題を基に、本時の内容に取り組む。  
(個人・ペア・グループなど)
  - ④練習問題に取り組んだり、課題について考えを交流したりして内容を深める。
  - ⑤本時のまとめを行う。  
(確認問題など)
  - ⑥振り返りシートを記入する。
- ※活動に参加し、人に説明する機会を積極的に活用し、力を付けていきましょう。
- ※レポート課題は、これまでの学習を組み合わせて取り組みましょう。

## 家庭学習の手引き

- ①授業で取り組んだノートやプリントを参考に毎日の宿題に取り組む。
- ②授業で学習した範囲のリピート（問題集）に取り組み、定着させる。  
(途中式や考え方を書く。)
- ③間違えたりわからなかつたりした問題はもう一度解き直す。その際、自分で書いた途中式を残したまま、正しい式や考え方を書くようする。
- ④教科書の太字の用語や色枠の部分を覚え、説明できるようにする。

## 通知表の付け方

評価の観点	材料
知識・技能	定期テスト、小テスト、レポート
思考・判断・表現	定期テスト、小テスト、レポート
主体的に学習に取り組む態度	振り返りシート、レポート

1年間の授業計画（140時間）

学習の流れ		学習内容
1 学 期	算数から数学へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○整数の性質</li> </ul> <p>○九九表の決まりを見いだし、説明する。      ○自然数をいくつかの数の積で表す。      ○自然数を素因数分解する。</p>
	正負の数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○正負の数</li> <li>○加法と減法</li> <li>○乗法と除法</li> <li>○数の世界の広がりと四則計算</li> <li>○素数の積</li> </ul> <p>○反対の性質をもつ量や基準とのちがいを、正負の数を使って表す。      ○正負の数の加法、減法、乗法、除法の計算をする。      ○四則の混じった式の計算を理解する。</p>
	文字と式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文字を使った式</li> <li>○文字式の計算</li> </ul> <p>○具体的な数量を、積の表し方にしたがって、文字を使った式で表す。      ○いろいろな数を、文字を使った式で表したり、式から数を読みとったりする</p>
2 学 期	方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○方程式</li> <li>○1次方程式</li> </ul> <p>○等式・左辺・右辺の意味を理解する。      ○等式の性質を使って方程式を解く。      ○比例式の性質を利用して、文字の値を求める。</p>
	比例と反比	<ul style="list-style-type: none"> <li>○比例</li> <li>○反比例</li> <li>○比例と反比例の利用</li> </ul> <p>○ともなって変わる2つの数量の間の関係を、表や式に表す      ○変域を、不等号を使って表す。      ○座標に関する用語や意味を理解する。      ○比例と反比例のグラフの形や書き方を理解する。      ○比例や反比例を利用して文章問題を解く。</p>
	平面図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>○対称な図形</li> <li>○基本の作図</li> <li>○円とおうぎ形</li> </ul> <p>○線対称・点対称の意味を理解する。      ○角の二等分線・垂直二等分線などの基本の作図方法を理解する。      ○円とおうぎ形の性質について理解する。</p>
3 学 期	空間図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな立体</li> <li>○立体のいろいろな見方</li> <li>○立体の表面積と体積</li> </ul> <p>○角柱と角錐、円柱と円錐、角錐と円錐の共通点やちがいを考える。      ○平面図形の移動によってできる立体の見取図をかく。      ○立体の表面積や体積を求める。</p>
	資料の分析と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料の分析</li> <li>○累積度数</li> <li>○資料の活用</li> <li>○近似値と有効数字</li> </ul> <p>○目的に応じて資料を整理する。      ○資料を度数分布表やヒストグラムに表す。      ○範囲、代表値、平均値、メジアン、モードを求める。</p>

1年生	理 科	教科書、ノート、ワーク、ファイル、プリント、観察・実験用具
-----	-----	-------------------------------

(学習の目標)	
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	
(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	
↑	↑
授業の進め方や授業のポイント	家庭学習の手引き
<p>①授業規律を守る。</p> <p>②説明を聞き、自分の考えを持つ。</p> <p>③積極的に発表する。</p> <p>④仲間の意見に耳を傾ける。</p> <p>⑤ノートに授業の記録を残す。</p> <p>⑥観察・実験は積極的に参加する。</p> <p>⑦安全に充分留意し、指示をしっかりと守る。</p> <p>⑧期限を守って提出物を必ず提出する。</p> <p>⑨表やグラフの扱いに慣れる。</p>	<p>①授業のあった日はその日に復習する。</p> <p>②教科書の記述とノートの記述を見比べる。</p> <p>③ワークやプリントで基礎の定着をはかる。</p> <p>④定期テスト対策をしっかり行う。</p> <p>⑤まとめ直しは日常的に行い、テスト前は問題演習を中心に取り組む。</p> <p>⑥定期テストが返却されたら、必ずやり直しをする。</p>

#### 通知表の付け方

評価の観点	材料
知識・技能	定期テスト、観察・実験レポートの結果 単元末テスト
思考・判断・表現	定期テスト、単元末レポート、 観察・実験レポートの考察
主体的に学習に取り組む態度	単元末テスト、単元末レポート

#### 1年間の授業計画（105時間）

学習の流れ		学習内容
1 学 期	自然の中に あふれる生 命	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身のまわりの生物を観察し、その特徴を調べる。</li> <li>○ルーペや顕微鏡などの観察器具の使い方を身につける。</li> </ul>
	[生命] いろいろな 生物とその 共通点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○植物の特徴と分類</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○花の基本的なつくりの特徴と花のはたらきを関連づけて学習する。</li> <li>○子葉、根、葉のつくりの特徴を学習する。</li> <li>○植物が体の特徴によって分類できることを学習する。 また、種子をつくらない植物について学習する。</li> <li>○せきつい動物を中心に、動物の生活や体の特徴などについて学習する。</li> </ul>

	[物質] 身のまわり の物質	○いろいろな物質と その性質  ○いろいろな気体と その性質 ○水溶液の性質  ○物質のすがたとそ の変化	○物質にはそれぞれ特有の性質と共通の性質があること を理解し、基本的な実験器具の操作や記録の方法を身 につける。 ○気体の種類による特性を理解し、気体を発生させたり 集めたりする方法を身につける。 ○物質は融点や沸点を境に状態が変化することや、沸点 の違いによって物質の分離ができる学習する。 ○水溶液中では溶質が均一に分散していることおよび水 溶液から溶質を取り出す方法を理解する。
2 学 期	[エネルギー] 光・音・力 による現象	○光による現象  ○音による現象  ○力による現象	○光が空气中から水やガラスなど異なる物質の境界面で 反射、屈折するときの規則性や、物体の位置と凸レン ズのつくる像の位置および像の大きさの関係を学習する。 ○音は物が振動することによって発生し、空气中や水中な どを伝わることを学習する。 ○物体に力がはたらくとその物体が変形したり、動き始 めたり、運動の様子が変わったりすることを理解する とともに、力がつりあうときの条件を学習する。
3 学 期	[地球] 活きている 地球	○身近な大地  ○ゆれる大地  ○火をふく大地  ○語る大地	○大地のようすを観察することで、断層などの地形とし て大地に記録されていることに気づくとともに、大地 形などの成因をプレートの動きと関連づけて理解する。 ○地震のゆれの特徴や地震のゆれの伝わり方を理解す る。また、震央○震源の分布をプレートの動きと関連 づけて理解する。 ○火山の活動の様子はマグマの性質が深く関係してい ることを考察し、マグマからできる火成岩の特徴を理解 する。 ○地層を構成する岩石や化石を手がかりとして、地層が たい積した時代や当時の環境を推測するとともに、地 層のでき方や重なり方の規則性を理解する。 ○自然の恵みと火山災害・地震の災害について学ぶ。

1年生	音楽科	教科書、合唱曲集、教材プリント、ファイル等
-----	-----	-----------------------

(学習の目標)

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を身に付ける。

授業の進め方やポイント	家庭学習の手引き
<p>① 授業規律を守り、合唱隊形に並び、姿勢良く立ち、大きな声で、意欲的に歌う。</p> <p>② 説明や指示をしっかりと聞く。</p> <p>③ 仲間の歌や声をしっかりと聴く。</p> <p>④ パート練習に集中して取り組む。</p> <p>⑤ 鑑賞教材は鑑賞する観点を意識して静かに聴く。</p> <p>⑥ 感じたこと、思ったことを文章で表現する。</p> <p>⑦ 毎時間の振り返り（振り返りカードの記入）をしっかりと行う。</p> <p>⑧ 忘れ物、授業遅刻をしない。</p>	<p>① 教科書、配布した楽譜、プリントを見直す。</p> <p>② 作詞者、作曲者、調、拍子、速さ、歌詞などを見直し覚える。</p> <p>③ 習った歌が何も見ずに一人で歌える。</p> <p>④ 日常生活の中で、色々な音楽に興味を持ち、親しむ。</p>

通知表の付け方

評価の観点	材 料
知識・技能	定期テスト・歌唱テスト（発声・音程・曲想・姿勢態度）・箏テスト（音・音色・曲想）リズムテスト
思考・判断・表現	定期テスト・歌唱テスト（曲想）・鑑賞テスト・箏テスト（音色、曲想）
主体的に学習に取り組む態度	授業中の学習の様子・レポート・振り返り

1年間授業計画（45時間）

	学習の流れ	学習内容
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「校歌」</li> <li>○「We will find the way」</li> <li>○「その先へ」「My Voice」</li> <li>○「主人は冷たい土の中に」</li> <li>○「浜辺の歌」</li> <li>○「君をのせて」</li> <li>○鑑賞「春」</li> <li>○歌唱テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽に対する態度や約束事、心構え等を理解する。</li> <li>○校歌を暗譜して歌えるようにする。</li> <li>○新しい仲間と歌う喜びを分かち合い、心を解放して大きな声で歌う。</li> <li>○日本の歌の美しさを味わいながら、歌う。</li> <li>○ト音譜表の読み方、ハ長調について学習する。</li> <li>○ヘ音譜表を読んで混声合唱に親しむ。</li> <li>○ソネットをもとに、曲の雰囲気を感じ取って聴く。</li> <li>○曲の雰囲気を感じ取り、イメージをふくらませながら、歌唱表現が工夫できるように聴き、感じたことを文章や絵で表現する。</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学級合唱曲」</li> <li>○「朝の風に」</li> <li>○「赤とんぼ」</li> <li>○鑑賞「魔王」</li> <li>○歌唱テスト</li> <li>○雅楽「平調 越天楽」</li> <li>○箏の学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○合唱発表会への参加を通して、合唱曲に取り組み、表現力を身につけ、合唱を愛好する気持ちを育てる。曲のもつている良さや特質を味わい、曲にふさわしい歌い方を学ぶ。曲に出てくる音楽記号について学習する。</li> <li>○パートの役割や、旋律の重なり方の特徴を感じ取って合唱する。</li> <li>○日本に歌い継がれてきた曲を学習する。</li> <li>○詩の内容と曲想の変化との関わりを感じ取る。</li> <li>○日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わう。</li> <li>○箏の基本の奏法を学習する。</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「エーデルワイス」</li> <li>○「Let's Search For Tomorrow」</li> <li>○箏の学習「さくらさくら」</li> <li>○鑑賞 箏曲「六段の調」</li> <li>○鑑賞「日本の民謡」「アジアの諸民族の音楽」</li> <li>○アルトリコーダー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲のまとまりやハーモニーの変化を感じ取って合唱する。</li> <li>○歌詞の内容を理解し、歌唱表現を工夫して歌う。</li> <li>○声部の役割を理解し、全体の響きに調和させて合唱する。日本の楽器の響きの魅力を知り、伝統音楽に親しむ。</li> <li>○日本の伝統楽器に親しむ。</li> <li>○日本の民謡、アジア各地の音楽に親しみ、声や音楽の特徴を感じ取る。</li> <li>○アルトリコーダーの基本の奏法を学ぶ。</li> </ul>

1年生	美術科	絵や彫刻 デザインや工芸 鑑賞
-----	-----	-----------------

(学習の目標)

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の表現や創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

- (1) 美術の活動に積極的に取り組み、心豊かに制作を進めることができる。
- (2) 個性的な観察力や想像力を高め、豊かに発想したり構想したりする能力や表現方法を身に付け、創意工夫しながら創造的に表現することができる。
- (3) 美術作品、文化遺産などについての見方を深め、心豊かに生きることと美術との関わりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わうことができる。

授業の進め方やポイント	家庭学習の手引き
<p>①説明などの話をしっかりと聴き、考え、表現する内容を理解する。</p> <p>②「うまく表現できなくても集中して丁寧に」と言う気持ちを大切にすれば、表現すること自体を楽しめる時間となり、美術の本質に気づくことができる。</p> <p>③作品や道具類と準備や片付けの時間を大切にする。</p>	<p>①日頃から画集や作品などに親しみ、好きな作家や作品を持つ。</p> <p>②表現技法の上達は、描具と用紙の使った量に比例すると言われている。身近な風景や人物、器物などを描いて楽しむ時間をつくろう。</p>

通知表の付け方

評価の観点	材料
知識・技能	制作状況、課題作品、作品の進度・計画表 実技テスト 等
思考・判断・表現	制作状況、鑑賞・感想文などワークシートの記入内容 等
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、自己評価カード、制作計画表 単元末のレポート 等

年間授業計画（45時間）

学習の流れ		学習内容
1 学 期	絵 や 彫 刻 ・	<p>○素描の楽しさ 鉛筆デッサン</p> <p>○色の学習</p> <p>○対象の「光と影」を注意深く観察することで、新たなものの見方を発見し、平面に表すことで、素描の楽しさを知る。</p> <p>○色の持つイメージを理解する。</p>

	鑑賞	色彩構成 抽象表現 イメージで描く～言葉を色彩とタッチで表現する～  ○鑑賞 パブロ・ピカソ等 「ゲルニカ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ポスターカラーの特徴、扱い方を学習する。</li> <li>○配色に关心を持ち、表したいイメージを色で表現することを学習する。</li>   <li>○日本、西洋の作家や作品の鑑賞する。</li> </ul>
2 学 期	デ ザ イ ン や 鑑 賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>○レタリング文字デザイン</li> <li>○鑑賞            ジャクソン・ポロック等            コンテンポラリーアート         </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伝えたいことや主張したい内容の表し方を工夫して、効果的に伝えるための形、色などを考え表現する。</li> <li>○漢字の持つ意味と色彩や形から伝わるイメージを合わせ、デザインする。</li>   <li>○日本、西洋の作家や作品の鑑賞する。</li> </ul>
3 学 期	絵 や 彫 刻 ・ 鑑 賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>○透視図法を用いた表現</li> <li>○鑑賞            レオナルド・ダ・ヴィンチ等「最後の晩餐」         </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○透視図法を用いて、イメージをデザイン、表現する。</li> <li>○今まで学んだ表現方法を使い、表現活動の楽しさを味わう。</li> <li>○日本、西洋の作家や作品の鑑賞。</li> <li>○自分の作品について仲間に言葉や文章で伝えたり発表したりする。仲間の作品を鑑賞し、自分の思いを言葉や文章に表現する。</li> </ul>

1年男子

保健体育科

教科書、中学体育実技、学習カード

## (学習の目標)

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を高める。

## [体育分野]

- ①運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになるとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようとする。
- ②運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- ③運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。

## [保健分野]

- ①個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。



## 授業の進め方や授業のポイント

- ①服装を整え、素早く行動する。
- ②準備・片づけ等、積極的に行動する。
- ③授業リーダーを中心とした準備運動等を行う。
- ④指示を聞き、ルールを守り、安全に留意して活動する。
- ⑤互いに協力して、活動する。
- ⑥苦手なことにも前向きに取り組む。
- ⑦提出物は期限を守り必ず提出する。

## 家庭学習の手引き

- ①日々の体調管理をきちんとすること。
- ②授業で学習したことを、復習すること。
- ③授業で学習したことを、日常生活の中に生かしていくこと。

## 通知表の付け方

評価の観点	材料
知識・技能	学習カードの内容、学習活動の状況、審判、定期テスト、スキルテストなど
思考力・判断力・表現力	学習活動の状況、グループ活動の内容、学習カードの内容、審判など
主体的に学習に取り組む態度	学習活動の状況、グループ活動の内容、学習カードの内容、審判など

## 1年間の授業計画（105時間）

学習の流れ		学習内容
一学期	体つくり運動 ○ガイダンス ○体ほぐしの運動 ○新体力テスト	○学習のねらいや目的、約束事、心構え等を学習する。 ○さまざまな運動を通して、体や心の状態に気づいたり、体の調子を整えたりしながら仲間と豊かに交流する。 ○各種目において力を最大限に發揮し、今の自分の体力を知る。
	陸上競技 ○短距離走 ○リレー	○スタート、疾走動作の基本を学び、全力を出して競走し、自己記録の向上を目指す。 ○バトンパスに関する基本動作やティクオーバーゾーンの使い方について学び、仲間と協力しながら記録の向上を目指す。

	球技	○バレーボール	○パス、サーブ、スパイクなどの基本的な技能を身に付け、仲間と協力して練習やゲームを行う。
	心身の発達と心の健康	○体の発育・発達 ○呼吸循環機能の発達 ○生殖機能の成熟 ○異性の尊重と性情報への対処 ○知的機能と情意機能の発達 ○社会性の発達と自己形成	○体の各器官の発育の仕方や望ましい発育発達のために大切な生活の仕方を学ぶ。 ○呼吸循環機能の仕組みについて知り、中学生期には持久力を高めることができることを学ぶ。 ○性ホルモンの分泌による二次性徴について理解するとともに、月経や射精の仕組み、妊娠、出産のメカニズムについて学ぶ。 ○中学生期の性意識の変化や性情報への責任ある対処方法を学ぶ。 ○大脳の働きと発達の様子について理解し、知的機能や情意機能について学ぶ。 ○社会性の発達や社会生活におけるその必要性を学び、人とのかかわりについて考える。
二学期	器械運動	○マット運動	○補助等仲間と協力しながら基本的な技を練習し、できそうな技に積極的にチャレンジするとともに、連続技がスムーズにできるようにする。
	陸上競技	○長距離走	○走法、ペース配分を考えながら走り、自己記録の向上を目指す。
	武道	○柔道	○受け身や基本的な投げ技を習得すると同時に、礼儀作法を身につけ、武道に親しみながら、仲間と協力して練習や試合を行う。
	心身の発達と心の健康	○心と体の関わり ○欲求と欲求不満 ○ストレスへの対処と心の健康	○「自分らしさ」について考える。 ○欲求のメカニズムや中学生期の欲求の特徴について学習する。 ○欲求が満たされなかった場合の対処方法を理解するとともに、心的ストレスの体への影響について学び、心と体が一体であることを理解する。
三学期	球技	○バスケットボール	○個人的な技能を身に付け、攻防のしかたを工夫し、仲間と協力して練習やゲームを行う。
	ダンス	○創作ダンス	○与えられた課題やテーマについて、身体活動を通して表現する。
	健康な生活と病気の予防	○ 健康の成り立ち ○ 運動と健康 ○ 食生活と健康 ○ 休養と健康	○「健康である」ことの意義を理解し、健康に関わる「運動・栄養・休養」の三原則について学習する。
	体育に関する知識	○運動やスポーツの必要性と楽しさ ○運動やスポーツへの多様な関わり方 ○運動やスポーツの楽しみ方	○体を動かしたり、健康を維持したりすることなどの必要性や、競技に応じた力を試すなどの楽しさから生みだされ発展してきたことを学習する。 ○運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えることなどの多様なかかわり方があることを学習する。 ○世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であることを学習する。

1年女子	保健体育科	教科書、中学体育実技、学習カード等
------	-------	-------------------

(学習の目標)

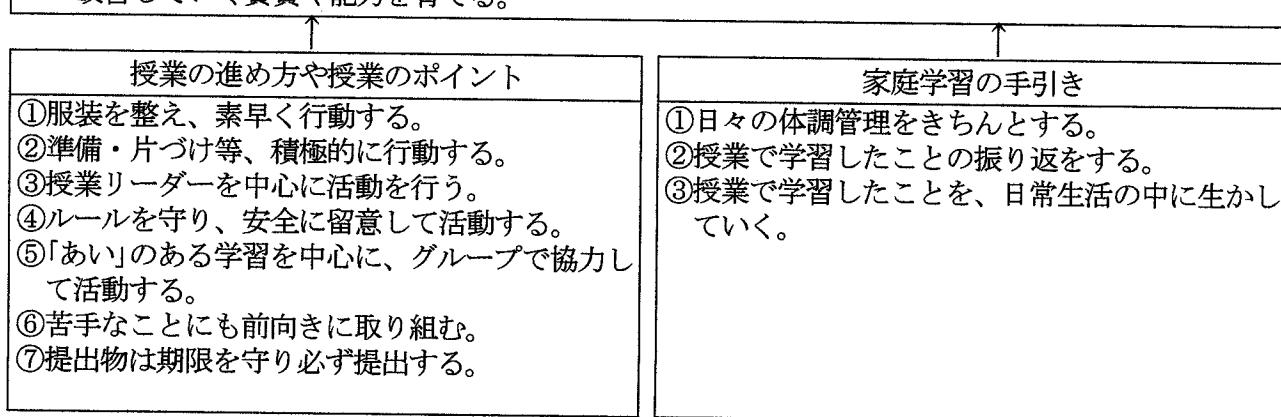
心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を高める。

[体育分野]

- ①運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになるとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようとする。
- ②運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- ③運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。

[保健分野]

- ①個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。



通知表の付け方

評価の観点	材料
知識・技能	学習カードの内容、学習活動の状況、審判、定期テスト、スキルテストなど
思考力・判断力・表現力	学習活動の状況、グループ活動の内容、学習カードの内容、審判など
主体的に学習に取り組む態度	学習活動の状況、グループ活動の内容、学習カードの内容、審判など

1年間の授業計画（105時間）

学習の流れ		学習内容
一学期	体つくり運動 ○ガイダンス ○体ほぐしの運動 ○新体力テスト	○学習のねらいや目的、約束事、心構え等を理解する。 ○さまざまな運動を通して、体や心の状態に気づいたり、体の調子を整えたりしながら仲間と豊かに交流する。 ○力を最大限に發揮し、今の自分の体力を知る。
	球技 ○バレーボール	○パス、サーブ、スパイクなどの基本的な技能を身に付け、仲間と協力して練習やゲームを行う。

	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○短距離走</li> <li>○リレー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スタート、疾走動作の基本を学び、全力を出して競走したり、記録の向上を目指したりする。</li> <li>○バトンパスに関する基本動作やテイクオーバーゾーンの使い方について学び、仲間と協力しながら、楽しくリレーを行う。</li> </ul>
	心身の発達と心の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体の発育・発達</li> <li>○呼吸循環機能の発達</li> <li>○生殖機能の成熟</li> <li>○異性の尊重と性情報への対処</li> <li>○知的機能と情意機能の発達</li> <li>○社会性の発達と自己形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体の各器官の発育の仕方や望ましい発育発達のために大切な生活の仕方を学ぶ。</li> <li>○呼吸循環機能の仕組みについて知り、中学生期には持久力を高めることができることを学ぶ。</li> <li>○性ホルモンの分泌による二次性徴について理解するとともに、月経や射精の仕組み、妊娠、出産のメカニズムについて学ぶ。</li> <li>○中学生期の性意識の変化や性情報への責任ある対処方法を学ぶ。</li> <li>○大脳の働きと発達の様子について理解し、知的機能や情意機能について学ぶ。</li> <li>○社会性の発達や社会生活におけるその必要性を学び、人とのかかわりについて考える。</li> </ul>
二学期	陸上競技	○長距離走	<ul style="list-style-type: none"> <li>○走法、ペース配分を考えながら全力を出して競走したり、記録の向上を目指す。</li> </ul>
	武道	○柔道	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受け身や基本的な投げ技を習得すると同時に、作法を身につけ、日本古来の武道に親しんだり、試合を楽しんだりする。</li> </ul>
	ダンス	○創作ダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○与えられた課題やテーマを身体活動を通して表現する。</li> </ul>
	心身の発達と心の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心と体の関わり</li> <li>○欲求と欲求不満</li> <li>○ストレスへの対処と心の健康</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「自分らしさ」について考える。</li> <li>○欲求のメカニズムや中学生期の欲求の特徴について学習する。</li> <li>○欲求が満たされなかった場合の対処方法を理解するとともに、心的ストレスの体への影響について学び、心と体が一体であることを理解する。</li> </ul>
三学期	球技	○バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人的な技能を身に付け、攻防の仕方を工夫し、仲間と協力して練習やゲームを行う。</li> </ul>
	球技	○卓球	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な技能とルールを習得し、ゲームを楽しむことができる。</li> </ul>
	健康な生活と病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康の成り立ち</li> <li>○運動と健康</li> <li>○食生活と健康</li> <li>○休養と健康</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「健康である」ことの意義を理解し、健康に関わる「運動・栄養・休養」の三原則について学習する。</li> </ul>
	体育に関する知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動やスポーツの必要性と楽しさ</li> <li>○運動やスポーツへの多様な関わり方</li> <li>○運動やスポーツの楽しみ方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体を動かしたり、健康を維持したりすることなどの必要性や、競技に応じた力を試すなどの楽しさから生まれた発展してきたことを学習する。</li> <li>○運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えることなどの多様なかかわり方があることを学習する。</li> <li>○世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であることを学習する。</li> </ul>

1年生	技術科	教科書、ファイル
-----	-----	----------

(学習の目標)

生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

- ①技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考えることができる。
- ②技術の進展と環境との関係について考えることができる。
- ③材料の特徴と利用方法をすることができる。
- ④材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用することができる。
- ⑤材料と加工に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。
- ⑥使用目的や使用条件に即した機能と構想について考えることができる。
- ⑦構想の表示方法を知り、製作図を書くことができる。
- ⑧部品加工、組立て及び仕上げができる。



授業の進め方や授業のポイント

- ①授業の内容をよく聞き作業を進める。
- ②授業内容をワークシートにまとめる。
- ③意欲を持って最後までやりきる。
- ④教科書・ファイルを忘れない。
- ⑤作業には、作業服を着用し、安全に留意する。
- ⑥作品の作成はていねいに能率よく進める。
- ⑦道具を大切に取り扱い、片付けをしっかりと行う。
- ⑧提出物の提出期限は必ず守る。



家庭学習の手引き

- ①教科書、ワークシートを見直す。
- ②教科書の太文字の単語について、覚える。
- ③授業で習ったことを、家庭生活の中に生 貸していく。

通知表の付け方

評価の観点	材 料
知識・技能	定期テスト、ワークシート、作品、レポート など
思考・判断・表現	定期テスト、ワークシート、作品、レポート など
主体的に学習に取り組む態度	定期テスト、ワークシート、作品 レポート など

1年間の授業計画 (35時間)

学習の流れ		学習内容	評価の観点 (B基準)
1 学 期 の 材 料	A ○生活の中での 技術の役割	○生活や技術の中で用いられて いる技術に関心をもち、技術 が果たしている役割について 考える。	【主体的な態度】 ○技術の発達と生活様式や環境の変化 の関係について、調べようとしてい る。

加工に関する技術	○材料の選択、木材の特徴、金属の特徴、プラスチックの特徴	○製作品に用いる材料の特徴と利用方法についての知識を身に付けている。	【知識・技能】 ○構想図を正確にかくことができる。また、寸法の記入が正確にできる。 ○製作品に用いる材料の特徴と利用方法についての知識を身に付いている。 ○材料によって丈夫にする構造が異なっていることが理解できる。
	○じょうぶな構造	○製作品の構造を丈夫にする方法と接合方法について理解できる。	【思考・判断・表現】 ○立体の外形が捉えられる方向からかくことができる。
	○マルチラックの構想図 等角図 正投影図	○製作品の構想を等角図や正投影図によって表示することができる。	【主体的な態度】 ○身の回りの製品の材料や丈夫な構造について調べようとしている。
2学期	○マルチラックの製作 材料取り 木材のけがき のこぎりびき 部品加工 工作機械の利用 かんなげずり やすりがけ 組み立て 塗装	○使用する工具の仕組みに関心をもち、活用しようとする。 ○材料の特徴と加工の目的に応じて、工具の仕組みを活かした使い方を工夫している。 ○工具を安全に使用し、材料取りをすることができる。 ○工具の仕組みと効果的な使用方法との関係について理解する。	【知識・技能】 ○安全な作業の方法を知り、注意し合いながら加工することができる。 ○基礎的な加工法に関する知識と、代表的な工具の仕組みと効果的な使用方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ○材料に適した工具で加工法をまとめられる。 【主体的な態度】 ○工具の種類や用途、使用方法を調べようとしている。
	○持続可能な社会のために何ができるか	○循環型社会、低炭素社会、共生社会を目指すため、3Rについて理解する。	【思考・判断・表現】 ○自分の生活を見直し、自分でできることを考え、実践しようとしている。

1年生	家庭科	教科書、ワークシート、拡大教材、映像など
-----	-----	----------------------

(学習の目標)

生活の営みに関する見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し、創造する資質・能力を育成する。

- ①自分の食生活に关心を持ち、食事の役割を理解し、健康によい食習慣を考える。
- ②栄養素の種類と働きを知り、中学生に必要な栄養の特徴について考える。
- ③食品の栄養的特質や中学生の1日に必要な食品の種類と概量について知る。
- ④中学生の1日分の献立を考え、食品の品質を見分け用途に応じて選択できる。
- ⑤基礎的な日常食の調理ができ、安全と衛生に留意して食品や調理用具の管理ができる。
- ⑥地域の食材を生かすなどの調理を知り、地域の食文化について理解する。
- ⑦環境問題に関心を持ち、課題を持って食材を生かした調理の工夫を考え実践できる。

↑ 授業の進め方や授業のポイント	↑ 家庭学習の手引き
①授業の内容をよく聞き作業を進める。 ②授業内容をワークシートに丁寧にまとめ る。メモをとる。 ③意欲を持って最後までやりきる。 ④教科書、ファイル等必要な持ち物を忘れ ない。 ⑥道具を大切に取り扱い、片付けをしっかり行う。 ⑦提出物の提出期限は必ず守る。	①教科書、ワークシートを見直す。 ②教科書の太文字の単語について、覚える。 ③授業で習ったことを、家庭生活の中に生かしていく。

通知表の付け方

評価の観点	材料
知識・技能	定期テスト、小テスト、ワークシート、レポート、作品、調理実習など
思考・判断・表現	定期テスト、ワークシート、レポート、作品、調理実習など
主体的に学習に取り組む態度	ワークシート、レポート、作品、調理実習など

1年間の授業計画（35時間）

学習の流れ		学習内容
1 学 期	私たちの食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食事の役割を考えよう</li> <li>○栄養素の種類と働きを知ろう</li> <li>○食品にふくまれる栄養素を知ろう</li> <li>○バランスのとれた食生活を考えよう</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食事の役割を考え、自分の食生活を見直して問題に気づく。</li> <li>○健康を支える3本の柱についてまとめる。</li> <li>○栄養素の種類とそのはたらきをまとめて覚える。</li> <li>○体内での水のはたらきを知る。</li> <li>○食品によってふくまれる栄養素がちがうことに気づく。</li> <li>○中学生の栄養の特徴を理解する。</li> <li>○6つの食品群と食品群別摂取量のめやすについて理解する。</li> <li>○必要な栄養素を満たす1日分の献立を考える。</li> </ul>
2 学 期	食品の選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品の選び方を考えよう</li> <li>○日常食の調理をしよう</li> <li>○生活と環境のかかわりについて考えよう</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生鮮食品と加工食品の特徴と種類を理解する。</li> <li>○加工食品の表示やマークの意味を理解する。</li> <li>○食品添加物について理解して、調べ学習をする。</li> <li>○食品のさまざまな保存方法を知る。</li> <li>○調理器具の使い方やいろいろな切り方を知る。</li> <li>○材料の特徴を知り、適した調理の要点をまとめ覚える。</li> <li>○調理の手順に沿って、安全と衛生に留意しながら、効率よく調理をする。</li> <li>○食品から出るごみ問題を知り、環境問題について考える。</li> <li>○限りある資源の有効利用のためにできることを考え、生活の中で生かせるような実践力につける。</li> </ul>
3 学 期	調理と食文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の食文化を知ろう</li> <li>○よりよい食生活をめざして</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の食材や季節の食材を調べ、日常食や郷土料理、行事食を調べる。</li> <li>○食生活を取り巻く問題がわかり、自分の食生活をよりよくする方法を考える。</li> </ul>

1年生	英語科	① 教科書②ファイル③ワーク④ノート2冊（表現ノートとcan'tをcanにするノート）
-----	-----	---

（学習の目標）

自信をもって、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる力を付ける。  
そのため、日々の言語活動（チャットやライティングなど）に主体的（ゴールをもって）に取り組む。学期に1, 2回行うパフォーマンス課題で力が発揮できるように日々の授業の活動を丁寧に取り組む。「できるようになったこと」を増やすために主体的に学習する。



授業の進め方や授業のポイント	家庭学習の手引き
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標（CAN-DOリスト）を常に確認し、目的意識を持って授業に参加し、「できるようになったこと」を増やそう。</li> <li>・自分の考え方や気持ちを積極的に話したり書いたりして伝えよう。</li> <li>・授業の3つのルールを大切にしよう。           <ul style="list-style-type: none"> <li>①Love your friends.</li> <li>②Love your mistakes.</li> <li>③Love your challenges.</li> </ul> </li> <li>・音読はすべての力を伸ばします。教科書本文の表現を自分の言葉として使えるようになるまで読み込もう。（各ページ30回目標）</li> <li>・ALTの先生と英語でコミュニケーションを取れるチャンスを最大限に活用しよう。授業以外でも積極的に話しかけよう。</li> <li>・学習したことや理解したことを確実に身に付けられるように、毎日家庭学習に取り組もう。自主勉強ノートを使って、「できるようになったこと」を決めて目標にして行動に移そう。</li> <li>・提出物などの課題は必ずやり遂げ、期日を守って提出しよう。</li> <li>・忘れ物はしないようにしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で学習した内容をその日のうちに復習しよう。 →毎時間のワークシートや宿題は必ずやり遂げ、自主勉強も積極的に行おう。</li> <li>→授業で習ったことが確実に身に付くよう、学習したことを振り返って、自分の力でやり切れるか確かめながら学習を進めよう。</li> <li>→教科書の本文の内容を理解した上で、繰り返し読んだり書いたりしよう。発音が分からぬときはQRコードを活用しよう。</li> <li>→学習した語句や基本文、教科書の本文などの内容を自己表現につなげられるかどうか、自分で意見や考えを書くなど、習った表現を使ってみよう。自主勉強については自分でコースを選んで、成長を感じられる内容になるよう工夫しよう。</li> <li>・テストや課題などには目標を持って取り組み、できるようになったことを増やし、自信を付けることができる努力をしよう。</li> </ul>

評価について

評価の観点	評価材料
知識・技能	<p>[聞くこと、読むこと]（理解の領域） (リスニング、長文、語句の使い方等の問題において、英語表現そのもの、または使い方を理解しているか、身に付けているかどうかを見ます)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト等のペーパーテスト</li> </ul> <p>[話すこと（やり取り・発表）、書くこと]（表現の領域） (話す活動、書く活動の英語表現の正確さを見ます)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リテリング（教科書の内容をイラストや写真を見て英語で説明する）</li> <li>パフォーマンステスト等のアウトプットの活動</li> <li>音読（発音やイントネーション、リズムの正確さ）</li> <li>表現ノートの英文の正確さ</li> </ul>
思考・判断・表現	<p>[聞くこと、読むこと]（理解の領域） (リスニング、長文を目的・場面・状況に応じて内容を理解しているかどうかを見ます)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト等のペーパーテスト</li> </ul> <p>[話すこと（やり取り・発表）、書くこと]（表現の領域） (話す活動、書く活動の内容が目的・場面・状況に応じて適切かどうかを見ます)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パフォーマンステスト等のアウトプットの活動</li> <li>スキット作成・発表等の言語活動（場面に応じたセリフを考え、演じる等）</li> <li>表現ノートの英文の適切さ</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	* 基本的には「思考・判断・表現」と評価は運動しており、習ったことを活用して目的・場面・状況に応じて、また相手意識をもって伝え合おうとしている態度、目標に向かって努力をしている具体的な行動を評価に入れます。

	※振り返りの内容が、授業で行う言語活動に実際に表れている場合、評価に加味することができる。				
1年間の授業計画(140時間)					

学年	CEFR ステージ	聞くこと (Listening)	読むこと(Reading)	話すこと(Speaking)		書くこと(Writing)
				やり取り	発表	
一学期	Get Ready 1～4 PROGRAM 0	英語を聞いて、必要な情報を捉えることができる。	基本的な語句を読むことができる。			
	PRPGRAM 1 友だちを作ろう		本文を読み、Q&Aに取り組みながら、概要を捉えることができる。			例を参考にして、自己紹介を書くことができる。
	Word Web 1 数の言い方	数字を正確に聞き取ることができる。	本文を読み、Q&Aに取り組みながら、概要を捉えることができる。			
	PRPGRAM 2 1-B の生徒たち		本文を読み、Q&Aに取り組みながら、概要を捉えることができる。	時運が普段することについて、友だちとやり取りすることができる。		
	Word Web 2 曜日と天気の言い方	曜日や天気を聞いて、理解できる。				
	Steps 1 英語でやり取りしよう①			様々な既習表現を使って、友だちとやり取りすることができる。		
	PRPGRAM 3 タレントショーを開こう		本文を読み、Q&Aに取り組みながら、概要を捉えることができる。		夢のロボットの紹介文を考え、発表することができる。	
	Steps 2 考えを整理し、表現しよう				マッピングを使って話題を整理し、考えを整理してスピーチできる。	
	Our Project 1 あなたの知らない私				完成した原稿を、聞く人に伝わるようにスピーチできる。	「あなたの知らない私」というテーマのスピーチの原稿を、情報を整理し、書くことができる。
	Power-Up 1 Listening & Speaking ハンバーガーショップへ行こう	ハンバーガーショップでの会話を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。	ハンバーガーショップでの対話を読んで、概要をつかむことができる。			
二学期	PRPGRAM 4 Let's Enjoy Japanese Culture.		本文を読み、Q&Aに取り組みながら、概要を捉えることができる。			教科書の登場人物について、紹介文を書くことができる。
	Power-Up 2 Listening & Speaking 持ち主をたずねよう	ホワイト先生と果歩の会話を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。				
	PRPGRAM 5 Junior Safety Patrol		本文を読み、Q&Aに取り組みながら、概要を捉えることができる。	紹介カード書いている情報をやり取りしながら集めることができる。		紹介された友だちの情報を整理して、紹介文を書くことができる。
	Word Web 3 季節・月の名前	季節や月の名前を聞いて、理解できる。				
	PRPGRAM 6 The Way to School		本文を読み、Q&Aに取り組みながら、概要を捉えることができる。	お気に入りの人物を紹介し合ったり、思いを伝え合ったりして、友だちとやり取りすることができる。		
	Power-Up 3 Listening & Speaking 道案内をしよう			駅ビルで困っている外国人に、道案内ができる。		
	Power-Up 4 Listening 店内放送を聞こう	店内放送を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。				
	Word Web 4 順番・日付の言い方			様々な日付について、友だちとやり取りすることができる。		
	PRPGRAM 7 Research on Australia		本文を読み、Q&Aに取り組みながら、概要を捉えることができる。	もののある場所や交通手段について、友だちとやり取りすることができる。		
	Steps 3 話の組み立て方を考えよう				自分の考えをわかりやすく伝えるために、話の組み立てを工夫して発表することができる。	
	Steps 4 英語でやり取り			様々な既習表現を使って、友だちとやり取りする		

しよう②			ことができる。 例文を参考に、疑問詞を使って友だちとやり取りできる。		
Word Web 5 疑問詞のまとめ					
Our Project 2 この人を知って いますか				自分が紹介したい人物について、マッピングを使うなどして、効果的なスピーチができる。	
Power-Up 5 Listening インタビューを 聞こう	インタビューを聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。				
PRPGRAM 8 The Year-End Events		本文を読み、Q&Aに取り組みながら、概要を捉えることができる。	いろいろな状況を設定し、その状況に合わせたスケットを作り、やり取りできる。		
Steps 5 絵や写真を英語で表現しよう			絵や写真を見て、説明し合うことができる。		
PRPGRAM 9 A Trip to Finland		本文を読み、Q&Aに取り組みながら、概要を捉えることができる。	互いに事をより良く知り合うために、例を参考にして、昨日や先週末にしたことを見ね合うことができる。		
Steps 6 文の内容を整理し、表現しよう			図表を使って整理した内容を伝え合うことができる。		
PRPGRAM 10 Grandma Baba's Warming Ideas!		本文を読み、Q&Aに取り組みながら、概要を捉えることができる。		ばばばあちゃんの紙芝居を使って、意欲的に発表できる。	
Steps 7 英語でやり取り しよう③			既習の表現を使って、スマーズにやり取りすることができます。		
Our Project 3 私が選んだ1枚			スピーチした内容についての質問や意見に対して、積極的にやり取りできる。	自分が選んだ絵や写真について、メモやマッピングを元にスピーチできる。	
Power-Up 6 Reading & Writing 絵はがきを書こう		エミリーから真央に届いた絵はがきを見て、書き方や内容を理解して読むことができる。			絵はがきの例を参考にして、友だちに英語で絵はがきを書くことができる。

※ 3年間の目標については「京都府版小中高連携CAN-DOリスト」を参照。

